令和3年度第1回江別市経済審議会（書面開催）　意見等及び回答一覧

委員名	ご意見・ご質問等の内容	市の考え
井上　誠司	（１）各課主要政策概要について	
	■観光振興課	
	レンタサイクル事業は、サイクルツーリズムの推進を目的の一つとして実施するものと理解してよろしいでしょうか。そうであるならば、PRが今後の大きな課題になると思われます。例えば釧路管内では、空港ターミナルビルに隣接する形でサイクリングターミナルが設置されていて、観光客は空港到着後すぐに、「ここはサイクルツーリズムを推進されているんだな」といったことが実感できます。野幌駅または江別駅周辺で、こうしたことが実感できるスポットは今のところ見当たらないような気がいたします。 　また、釧路管内では、多数のモデルコースを設置し、パンフレットなどで広く紹介しています。江別市でも複数のモデルコースを設定できるはずです。例えば、歴史スポット巡りコースの設定などはいかがでしょうか。古墳、運河、旧岡田倉庫、千古園、天徳寺（屯田兵の木造）等々、史跡は市内各地に多数存在しています。	レンタサイクル事業は、広い意味でサイクルツーリズムの推進を目的の一つとして実施するものとしてご理解いただいて問題ありません。今年度のレンタサイクル事業は試行の年と位置付けて実施しております。実際にどのような使われ方がされるのかをモニターし、アンケートを取り、今後の貸出料金の設定やモデルコースなどを検討するための資料としたいと考えているところです。新型コロナウイルス感染拡大により、現在事業を休止している状況にございますが、ご意見を参考に、江別の見どころを自転車で周遊するための情報提供について、今後も検討してまいります。
	■農業振興課	
	観光関連事業との連携が求められると思います。特に北光地区周辺は、国道337号が全通または新千歳空港との直結が実現する前に、観光客を呼び込むための施策の確立が欠かせないのではないでしょうか。体験農園、農家レストラン、直売所など、空港から小樽方面へレンタカーを利用して移動する観光客に立ち寄ってもらうスポットを複数設置することで、観光とともに農業の振興も図ることが可能なはずです。こうした取り組みは、長沼町や千歳市などと比べると、江別市は遅れをとっていると言えます。 　それと、以前にも申し上げましたが、えぞ但馬牛に関しては、供給量が少なく、なかなか食することができないといった現実を踏まえて、希少性をPRポイントにすべきではないかと考えます。	グリーン・ツーリズム関連施設の設置については、農業者の意向も踏まえた「農村滞在型余暇活動機能整備計画」を策定し、規制緩和を図ることで支援していきます。さらには、施設等を整備する場合には、国や北海道の補助金制度の活用を支援していきます。 　また、農業者によって設置されたグリーン・ツーリズム関連施設については、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への参画を促し、協議会活動を支援することで、江別産農畜産物の地産地消や、生産者と消費者との交流を支援していきます。 　江別産農畜産物ブランディング事業におけるえぞ但馬牛のブランド化支援については、市内の黒毛和種の改良・増殖を支援し、品質向上を図る事業であります。供給量の確保するためには、まず肥育農家の育成・確保が課題となることから、ふるさと納税等でその希少性をPRし、その反応も見つつ、希少価値・販売単価増につながるような販売方法等について生産者とも協議し、肥育農家の確保の一助にしたい。
	（２）旧岡田倉庫の移設とかわまちづくりについて	
	同様の取り組みを推進している市町村とのタイアップを検討してみてはいかがでしょうか。例えば、かわまちづくりを行っている市町村が集まって「サミット」を開催すれば、知名度の向上が図れるのではないかと考えられます。（すでにこうした取り組みを検討されているのかもしれませんが・・・）	かわまちづくり制度については、市民参加による「かわまちづくり勉強会」や「かわまちづくり協議会」を通じて今後のハード整備、ソフト施策の検討を続けているところです。ご意見を参考に、地域住民の意見を伺いながら、検討を進めてまいります。

平澤　亨輔	（１）各課主要政策概要について	
	■商工労働課	
	質問 ・江別まちなか仕事プラザ事業で地元に就職した方はどのくらいいるのか ・現在、政府などでは再就職のためにリカレント教育などがいわれている。パソコン講座はその一環であると思われるが、より高度な教育を行うことは考えているか。	・令和2年度において、当事業で就職した157名のうち、江別市内に就職した人数は120名となっております。 ・当事業の利用者は子育て中の女性やシニア層が多いため、パソコン講座についても、復職や再就職に向けて、まずは基本的な知識やスキルの習得を目的に行っています。より高度な教育については、利用者のニーズを汲みながら検討していきたいと考えております。
	■観光振興課	
	意見 　レンタサイクルの貸し出しは、市民活動センターあいで行っているとのことですが、場所はイオンの中でしょうか。もしそうならば、電車で江別を訪れた観光客にとって少し不便ではないか。駅で貸し出しできるような仕組みができないか。	現在、市民活動センターあいは、ＪＲ野幌駅から徒歩１分の市民交流施設ぷらっと内にあり、観光案内業務も委託しております。ＪＲでお越しになられた方にも利用しやすい環境が重要であると考えております。
	質問 　地域プロジェクトマネージャを任用したが、この方は、具体的にどのようなことを行っていくのか。 　またこの方はどのような経歴を持った方か。	具体的には、行政、法人化を予定している観光協会、民間を含む関係者間の橋渡し役となって、地域資源を活用し、観光振興や地域活性化につながる事業の企画提案やコーディネートを行うほか、観光協会内で立ち上げたワーキンググループの活動をサポートします。 　略歴：筑波大学大学院デザイン研究科修士課程及び札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程修了、都市開発に関するコンサルタントとして従事（１０年程度）、「NPO法人江別における持続可能なコモンズのためのしくみ」設立、「ミズベリング江別」代表等のほか、東京都渋谷区でもまちづくりのコーディネート役を務める。
	■企業立地課	
	質問 　テレワーク推進モデル事業で「施設利用型には一定程度のニーズがあり、（中略）サテライトオフィス誘致の可能性がある」との見解であるが、利用時間がどの程度かわからないので不確実な部分があるが、まだ需要としては少ないように感じるがその点はどうか。 　またサテライトオフィスについては今後、具体的にどのようなものを考えているのか。	6月1日～7月11日の間、上限延べ120室のところ98室の利用があったため一定程度ニーズがあると考えましたが、新規事業であり実績としてはまだ少ないと捉えております。このため、8月25日～9月30日で実施しているリボーン野幌と連携した新たなテレワークプランにおいて、さらにアンケートを実施しているほか、札幌市に本社のある事業所等を対象に、現在アンケート調査を実施しニーズの把握に努めているところです。 　これらの結果を踏まえ、オフィス分散の動きを捉えて江別市内におけるサテライトオフィス設置につながるよう必要な支援について検討を行っています。
小走　安則	意見なし	―
和田　美和	（１）各課主要政策概要について	
	■商工労働課	
	他の地域では報道などで支援金の支給が遅れているようだが江別の状況を知りたい。	支援金については、審査に必要な書類が全て揃っている場合には、書類到着後、概ね２週間から３週間後に申請者指定の口座へ入金させていただいております。
	■観光振興課	
	レンタサイクルのPRが足りないのでは。	まんまる新聞、ラジオ、市ＨＰ、江別観光冊子での掲載、ホテルリボーン野幌での案内、市内外の観光関連施設でのチラシ配布、ＳＮＳや動画等で周知を行いました。まん延防止等重点措置区域に適用された８月１４日以降、事業実施及びＰＲを控えていることもありますが、次年度に向け検討が必要であると考えております。
	（２）旧岡田倉庫の移設とかわまちづくりについて	
	観光振興にもつながるが、「旧岡田倉庫・かわまちづくり」江別条丁目の良い変革時！ 　れんがのあるまち江別のれんがを大々的に取り入れ、何度も訪れたいまちづくりを考えてほしい。	かわまちづくり制度については、どういったハード整備を実施するか市民議論を続けているところです。ご意見を参考に、地域住民の意見も伺いながら、検討を進めてまいります。

名古屋　由紀子	意見なし	―
坂上　伸也	意見なし	―
中野　亮二	（１）各課主要政策概要について	
	■商工労働課	
	１.江別まちなか仕事プラザ事業について 質問①　登録されている５４事業所はどのような業種構成になっていますか？	卸・小売業、サービス業、通信業、製造業、建設業、介護・福祉系等幅広い業種の企業に登録していただいております。
	１.江別まちなか仕事プラザ事業について 質問②　就職された１５７人は主にどのような職種が多い傾向となっていますか？	事務職や専門技術職のほか、清掃員や店頭の販売員、包装・仕分け作業等の職種に就職される方が多くなっております。
	■観光振興課	
	１.レンタサイクル事業について 質問①　利用者に向けてどのような方法で周知を行っていますか？	まんまる新聞、ラジオ、市ＨＰ、江別観光冊子での掲載、ホテルリボーン野幌での案内、市内外でのチラシ配布、ＳＮＳや動画等で周知を行いました。（まん延防止等重点措置区域に適用された８月１４日以降は、事業実施及びＰＲを控えております。）
	１.レンタサイクル事業について 質問②　一人あたりの利用時間の制約はありますか？	ご利用時間は、９時から１２時まで（午前）、１３時から１７時まで（午後）、９時から１７時まで（全日）の３区分です。なお、同一の利用者による連続での利用は、毎日返却のうえ原則として３日までとしております。
	１.レンタサイクル事業について 質問③　乗り捨て等を防ぐためにどのような対策をとっていますか？	利用申込みの際、利用者全員に氏名及び住所を確認できるもの（運転免許証、パスポート、健康保険証、学生証等）を提示していただいております。
	■企業立地課	
	１.企業立地等補助金について 質問①　雇用補助金は前年度に利用実績はありましたか？	令和2年度は、9社に計33,700千円交付しております。
	２.テレワーク推進モデル事業について 質問①　利用者のアンケート結果によると「サービス業」が一番多かったとのことですが、具体的な業種・職種について教えていただくことはできますか？	サービス業と回答した方は12名で、小売りやマスコミ、士業の方など様々です。また、職種は総務や企画、営業、専門職などです。
大川　尚	意見なし	―
岸本　佳廣	個別の案件については特別の意見はありませんが、コロナ禍の状況が２年を過ぎ、今後来年の春まで続くことが予想される中で市内の商工業者の多くが元に戻れない事態（廃業等）となることも考えられます。 　一時的なコロナ対策の給付金や補助金等で乗り越えてきたものの限界に近付いている業種もあるようです。 　今後ウィズコロナ、アフターコロナに対応した公的な援助を国・道の関係機関と協議して期間の長い新たな制度を設ける必要があると思います。	新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中、これまでは主に事業の継続を目的とした支援金等による施策を実施してきたところです。今後は国や道の支援制度を踏まえつつ、アフターコロナに対応した施策について、全国市長会等を通し要望して参ります。
松浦　智幸	意見なし	―

杉野　邦彦	（１）各課主要政策概要について	
	■企業立地課	
	※商工労働課の案件かわかりませんが、江別地域経済の復活を意図したことなのでここに記載させていただきます。 　今回、国は中小の新型コロナワクチン職場接種について、商工会議所や業界団体など複数企業で構成する団体に、接種1回あたり1000円の上乗せ支援を打ち出した。 　これは、中小企業では自前で医師や看護師を確保できずに、外部の医療機関に接種を頼るケースが多いが、医療従事者の引き合いが強まることで医師らの時給が高騰し、2070円では費用をまかない切れない懸念が出ているから。 　しかし、この支援は、何故か接種者に大企業が１社でも入っていたら不可という条件付きである。 7月15日(木)から江別工業団地協同組合は江別工業会館を開放し、江別商工会議所と連携し、地域の商工業従事者の現役世代を中心に、一日も早くワクチン接種を提供することで、江別地域経済の回復に貢献したいという趣旨で取り組んでいる。 （8月18日現在で、延べ8,340名に接種しました。9月15日まで実施予定です。） 　接種者の中には、江別商工会議所の会員である銀行の江別支店従業員やイオン江別店で働くパート従業員さんもいる。銀行によっては札幌の本店で職場接種している場合もあるが、江別市在住の従業員は、感染者の多い札幌より地元の江別で接種したいと、工業会館での接種を希望する人も多い。 　地域経済への貢献のために、中小企業の集まりである工業団地組合や商工会議所が一生懸命に頑張っているのに、一人でも大企業の従業員が入っていたら支援しないというのは絶対に間違っています。 　どうか、そのことを国に提言して欲しい！ 　江別地域経済に貢献しようと中小の団体が頑張っているのですから！	（※企業立地課が回答いたします。） 　国では、中小企業の職域接種における支援策として、接種1回あたり千円を上限に上乗せ補助することを決めましたが、当初は委員ご指摘のとおり一部でも中小企業以外（大企業や独立行政法人等）が含まれる場合には対象外とすると通知されておりました。 　しかし、その後、この運用方法は緩和され、「大企業等が入っていることだけを以て対象外とするわけではないとの趣旨であり、本支援はあくまで中小企業等に対する支援である趣旨を踏まえ、大企業が中核となったり、大企業の従業員が多数にのぼるようなケースを対象とする趣旨ではない」との見解が示されたところです。
	■農業振興課	
	食育については、コロナの影響で学校への出前授業もできなくなっています。小学校など、リモートで出前授業ができるような環境づくりを進めてはどうでしょうか。	新型コロナウイルスの感染者数増加に伴う緊急事態宣言を受け、当市の食育事業についても延期や中止など、影響が出ております。ご指摘のリモートでの出前授業につきましては、令和3年度に市内の企業に協力いただいて初めて実施し、食育の会場と協力企業の会議室等をオンラインでつなぎ、動画を活用した説明や、クイズ形式で参加型の説明なども行い、円滑に実施できました。一部音声トラブルがあったものの、児童たちも違和感なく参加していたことから、今後はトラブル回避の手法や、各学校や屋外（ほ場）など幅広い場所での実施方法などをより研究し、引き続き活用してまいります。
	■企業立地課	
	テレワークの推進については、特に小企業ではWi-Fi設備も設置していない企業も多い。テレワーク環境を充実させるための、中小企業への助成支援があるとありがたい。	市では、企業内におけるテレワーク導入の助成はしておりませんが、市ＨＰにおいて国や道の支援制度について紹介しております。（市ＨＰ「テレワーク導入に関する支援策について」） 　また、市では施設を利用したテレワークを推進するため、ホテルリボーン野幌と連携したテレワークや、サテライトオフィス誘致に取り組んでおります。

柿本　雅史	意見なし	―
世永　茂	意見なし	―
渡部　正廣	意見なし	―
岡村　恵子	意見なし	―
藤岡　章一	■観光振興課	
	各課に共通して言えるのですが、当市は石狩管内でも有数の小麦産地であります。中でも「ハルユタカ」は高タンパクで風味豊かであるため「パン」に最適です。都市部を中心にパンの人気はうなぎのぼり。コロナ禍でも有名店は列を作っています。ハルユタカを使用した「パンの街」を作るというのはいかがでしょう。国道沿いに大規模な駐車場を完備し、江別の赤レンガを使用した、お店はよく目立ち札幌方面からの客が殺到すると思います。	（※観光振興課が回答いたします。） 現在市内では、チェーン店を含め２０店を超えるパン屋が営業されており、中には江別産小麦ハルユタカや道産小麦・地元農産品を使用したパンを販売されるなど、地産地消にもご協力いただいているところです。このようなことから、各店舗のご協力のもと、小麦やパンの街としての知名度が向上するようＰＲに努めてまいりたいと考えております。国道沿いに集客施設を設置する点については、今後の参考とさせていただきます。
増田　秀男	（１）各課主要政策概要について	
	■商工労働課	
	１．感染症防止対策協力支援金給付事業については、7月11日以降も北海道と連携して継続して各支援金を支給するための事務を迅速にお願いをしたい。	支援金の事務につきましては、迅速な対応が必要であることから、審査事務の一部を江別商工会議所様へ委託することで、概ね２週間から３週間程度で入金できる体制を構築しています。今後も、道から支援金支給事務の依頼がありましたら、遅滞なく支給できるよう努めてまいります。
	２.江別まちなか仕事プラザ事業 ①趣旨やスキームは理解できました。大いに推進して下さい。	ありがとうございます。
	２.江別まちなか仕事プラザ事業 ②登録事業所は、商工会議所会員のみですか。例えば、介護事業者や農業者等も対象ですか。	登録事業者は商工会議所会員に限定されません。介護事業者や農業者等も登録することができます。
	■観光振興課	
	１、２、４、５は理解できました。 ３．地域発見魅力発信事業で、地域資源の発掘は地域PM（※プロジェクトマネジャー）が中心となって発掘するのですか。	地域資源を発掘し新たな魅力を創出するには、外からの視点が大切であるという点で、首都圏から転居し当市で勤務する地域ＰＭ（※プロジェクトマネジャー）や地域おこし協力にその役割を期待するところではありますが、市や観光協会等全体で取り組むべき課題であると考えております。
	工場等の大型設備投資がない中、宿泊施設の新設計画はありませんか。	観光振興課において把握している計画はございません。
	■農業振興課	
	１、３は理解できました。 ①江別産農畜産物ブランディング事業での、えぞ但馬牛の販売実績(量、金額)は。高価だが希少価値があり、販売即完売と少量であると聞いているが、特化事業として今後も成り立ちますか。	江別産農畜産物ブランディング事業におけるえぞ但馬牛のブランド化支援については、市内の黒毛和種の改良・増殖を支援し、品質向上を図る事業であり、販売を支援する事業ではありません。 令和２年の販売実績については、１８頭で18,087,104円だと伺っております。 今後も江別のブランド農畜産物として、高品質の和牛生産が出来るよう、肥育農家の確保の一助となるため、この事業を継続していきたいと考えております。
	②小麦品種「きたほなみ」の小麦作付面積と生産額の過去3年位の推移は。	小麦「きたほなみ」の作付面積の推移につきましては、平成30年度43.7ha、令和元年度37.9ha、令和２年度32.5haとなっております。生産額については、市として把握しておりません。

増田　秀男	４．江別市学生アルバイト雇用農業者給付金はもっとPRすべき事項かと感じています。	学生アルバイト雇用農業者給付金（新型コロナウイルス感染症対策支援事業）のPRにつきましては、市ホームページ等の広報媒体のほか、申請の対象者となる農業者に対し、JA道央の協力をいただいて、事業内容を簡潔にまとめたチラシを市内全組合員宛てにFAX送信し、JAに加入していない農業者については、当課より直接FAXをお送りしました。また、多くの農業者が手続きに訪れる時期など、折々で直接説明したほか、農業委員会総会の場で事業説明の時間をいただき、各農業委員に地域の農業者への周知協力を呼びかけるなど、周知に努めてまいりました。 雇用の対象となる大学生等については、市内各大学に本事業の情報を提供し、訪問して説明するなど、事業の主旨をご理解いただいた上で、各大学の方針に基づき可能な範囲で学生への周知をお願いしたところです。 結果として、令和2年度実績では、当初想定していた予算を超える申請額となりました。
	■企業立地課	
	１.製造加工や物流関連を主体に誘致する等の江別市の方向性はありますか。	市では、製造加工や物流関連のほか、環境エネルギーや試験研究施設、植物工場、情報関連施設、コールセンター等を対象として補助を行い、誘致を進めております。また、ＲＴＮパークの市分譲地については、食品関連に限定して分譲しております。
	２.企業誘致の過去３年間程度の実績は。	平成30年度は5件、令和元年度は1件、令和2年度は5件で、件数は年度ごとにバラつきがあります。なお、業種では物流や食品関連が多い傾向にあります。
	総合特区推進担当	
	今後江別市としては、特別に専門部署やPT（※プロジェクトチーム）を立ち上げないようですが、必要性が発生した際はすぐに組織できる体制造りをしておきたいです。	平成２４年度から推進してきました総合特区計画が本年度で終了することに伴い、特区計画推進のために設置しました総合特区推進担当も終了となります。 市としましては、これまで総合特区推進担当のほか、新型コロナウイルス感染症対策室の設置など、特定の行政課題に対応した組織体制の構築やPT（※プロジェクトチーム）の立ち上げをしており、ご指摘のとおり、経済部としましても、江別市の振興に資するよう専門部署等の必要性が生じた際には、速やかに対応してまいります。
	(2)旧岡田倉庫の移設とかわまちづくりについて	
	申し訳ありませんが、率直に申し上げて石狩川界隈に馴染みがなく、今回のPJ（※プロジェクト）にも何かピンときません。跡地を河川公園化するとか、夏祭りと花火をするとか　目玉事業がないか等、折角WG（※ワーキンググループ）があるのでもう少し内容を吟味しては、いかがでしょうか。	かわまちづくり制度については、市民参加による「かわまちづくり勉強会」や「かわまちづくり協議会」を通じて今後のハード整備、ソフト施策の検討を続けており、過去の勉強会では、お祭りや花火大会の開催といったご意見も市民の方からいただいているところです。今後も、地域住民の意見を伺いながら、イベントの担い手等も含め、検討を進めてまいります。

※いただいたご意見等を原文のまま掲載しています。

※文中の脚注（※）は、事務局の補足です。